

学校生活についてのアンケート調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査目的

藤沢市教育委員会では、学校に対して児童生徒の学校生活における人間関係等について、アンケートによる実態把握や個別面談を行うとともに、日頃から児童生徒の様子に注視してのきめ細かな対応を依頼しています。それを受け、学校も、トラブルやいじめの未然防止のために、道徳や特別活動、総合的な学習の時間等において、様々な取り組みを行なうとともに、早期発見・早期対応に努めています。

しかし、少子化や幼少期からの集団遊びの少なさなどから、対人関係をうまく処理することができない児童生徒が増えており、トラブルやいじめに発展するケースが起きている状況があります。

各学校は、学年や学級における子どもの実態を把握し、いじめの未然防止や早期発見・早期解決につなげることを目的として、また、教育委員会は、藤沢市全体の傾向を把握して今後の施策に反映することをねらいとして、昨年度から全児童生徒を対象に「学校生活についてのアンケート調査」を実施しています。

アンケートは、学校内で起きたことだけでなく、学校外で起きたことについても、学校の人間関係の中で起きたことは含まれています。

(2) 実施日 平成25年9月2日(月)～9月20日(金)

(3) 調査対象 全市立小・中学校児童生徒

小学生

1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	回答率
3,710	3,637	3,825	3,887	3,764	3,753	<u>22,558</u>	98.4%

中学生

1年	2年	3年	計	回答率
3,475	3,392	3,345	<u>10,212</u>	97.8%

※回答率は平成25年9月1日現在の児童生徒在籍数に対する回答数の割合です。

※欠席者等がいるため回答率は100%になっていません。

(4) 調査内容 「学校生活についてのアンケート」

設問1～設問4「学校生活の中で嫌な思いをしている児童生徒の把握」

設問5「自己の行動の見直し」

設問6～設問8「周囲の児童生徒の意識」

2 調査結果の分析の観点

(1) 学校生活の中で嫌な思いをしている児童生徒の割合

(2) 昨年度の学年における割合と現在の学年における割合の経年比較

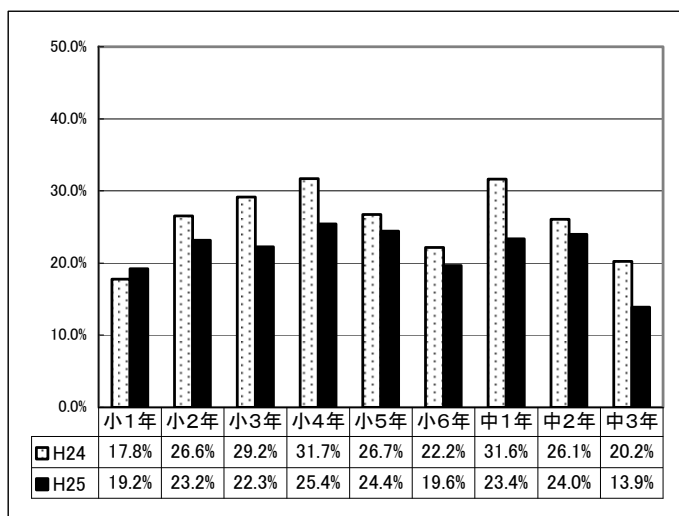
(3) 嫌な思いをしている児童生徒と嫌な思いをさせた児童生徒の比較

3 調査の結果と分析

※数字は各設問に「はい」と答えた児童生徒の数の割合をあらわしています。

設問1 今年の4月から今までの間に、くり返し次のようなことをされたことがありますか。

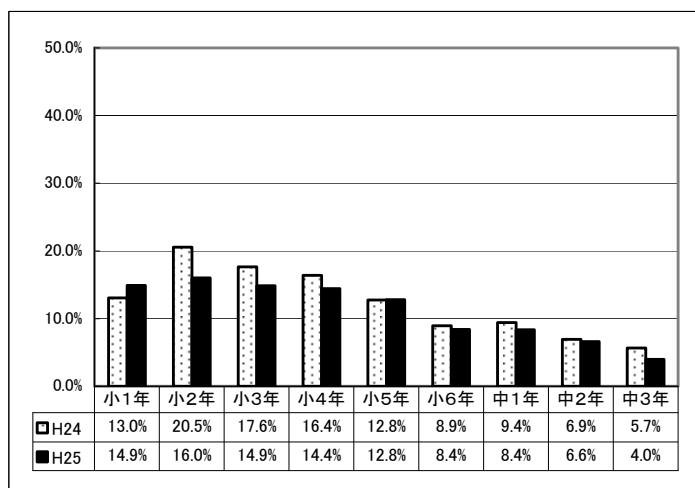
(1) ひやかされたり、からかわれたり、嫌なことを言われた



※<表1～21>は、同一の児童生徒の昨年度と今年度の経年比較を表しており、学年が一つ上がったことによる変化を示している。 <表1>

	H24	H25
小1→2	17.8%	23.2%
小2→3	26.6%	22.3%
小3→4	29.2%	25.4%
小4→5	31.7%	24.4%
小5→6	26.7%	19.6%
小6→中1	22.2%	23.9%
中1→2	31.6%	24.8%
中2→3	26.1%	14.1%

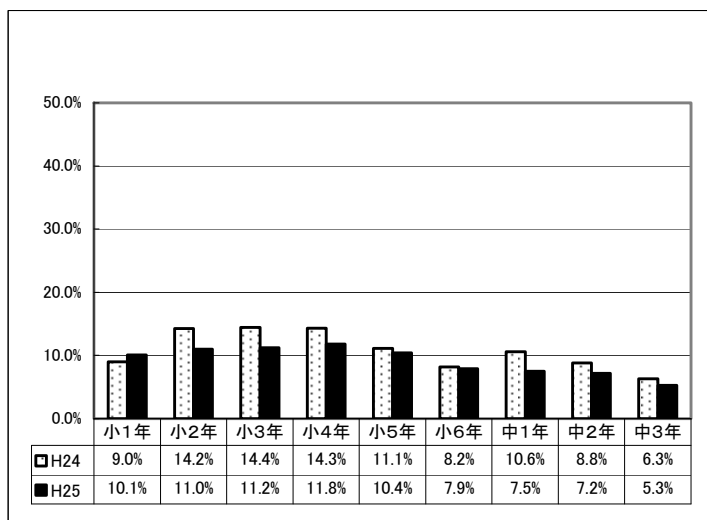
(2) 仲間はずれにされたり、無視されたりした



<表2>

	H24	H25
小1→2	13.0%	16.0%
小2→3	20.5%	14.9%
小3→4	17.6%	14.4%
小4→5	16.4%	12.8%
小5→6	12.8%	8.4%
小6→中1	8.9%	8.4%
中1→2	9.4%	6.6%
中2→3	6.9%	4.0%

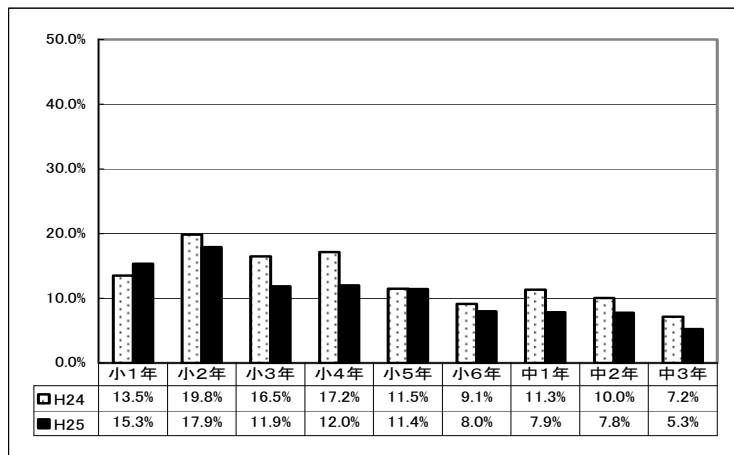
(3) 持ち物を取られたり、かくされたりした



<表3>

	H24	H25
小1→2	9.0%	11.0%
小2→3	14.2%	11.2%
小3→4	14.4%	11.8%
小4→5	14.3%	10.4%
小5→6	11.1%	7.9%
小6→中1	8.2%	7.5%
中1→2	10.6%	7.2%
中2→3	8.8%	5.3%

(4) なぐられたり、けられたりした



<表4>

	H24	H25
小1→2	13.5%	17.9%
小2→3	19.8%	11.9%
小3→4	16.5%	12.0%
小4→5	17.2%	11.4%
小5→6	11.5%	8.0%
小6→中1	9.1%	7.9%
中1→2	11.3%	7.8%
中2→3	10.0%	5.3%

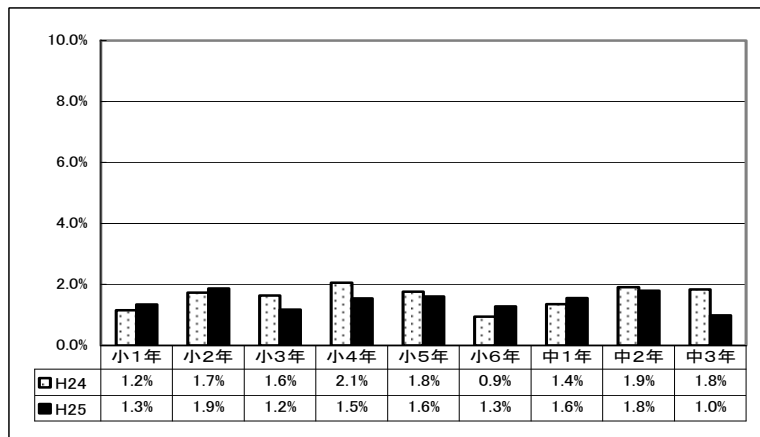
ア (1)～(4)については次のような傾向が見られます。

(ア) 「嫌なことを言われた」「無視されたりした」等の児童生徒は、昨年度に比べて小学1年生を除いて全ての学年で減少しています。

(イ) 経年比較においては、他の学年では減少傾向ですが、現小学2年生だけは上回っています。

イ(ア) ひやかされたり、からかわれたり、嫌なことを言われたについては、小学6年生で減少した数値は、中学校で再度増加しています。

(5) お金を出させられたり、おごらされたりした



<表5>

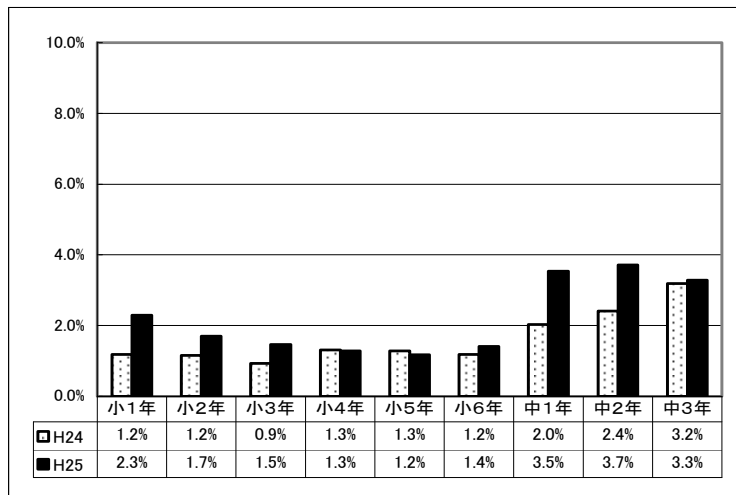
	H24	H25
小1→2	1.2%	1.9%
小2→3	1.7%	1.2%
小3→4	1.6%	1.5%
小4→5	2.1%	1.6%
小5→6	1.8%	1.3%
小6→中1	0.9%	1.6%
中1→2	1.4%	1.8%
中2→3	1.9%	1.0%

ア どの学年においても1%～2%の児童生徒が「お金を出させられたり、おごらされたり」しています。

イ 経年比較においては、現小学2年生、中学1・2年生において増加しています。

(6) 悪口を書いた手紙を回された（小学校低学年）

パソコンや携帯電話で悪口を言われたり、書き込まれたりした（小学校中学年～中学生）



<表 6 >

	H24	H25
小1→2	1.2%	1.7%
小2→3	1.2%	1.5%
小3→4	0.9%	1.3%
小4→5	1.3%	1.2%
小5→6	1.3%	1.4%
小6→中1	1.2%	3.5%
中1→2	2.0%	3.7%
中2→3	2.4%	3.3%

ア 小学校低学年においては、今年度質問項目を「悪口を書いた手紙を回された」に変更したため、昨年度に比べ増加したものと思われます。

イ 中学生では、特に1・2年生で上昇しています。

ウ 経年比較においては、現小学5年生を除いて、全ての学年で上回っています。とくに現中学1年生においては、その上昇の割合が大きくなっています。

(7) その他（嫌だと思ふこと）

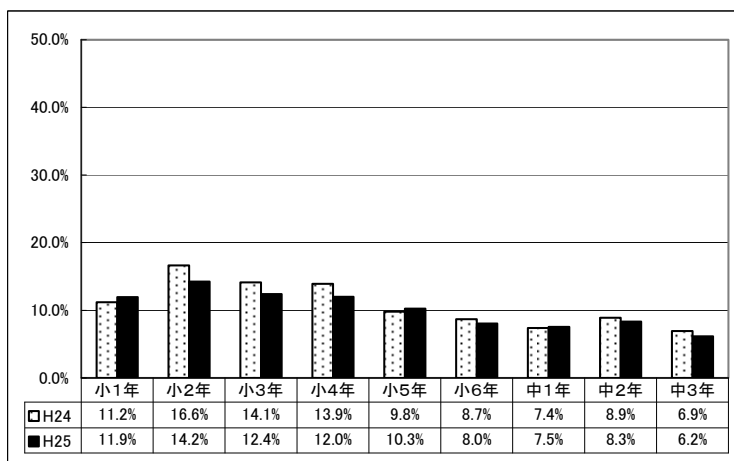
<小学生>

- ・冷やかされる
- ・無視される
- ・陰口を言われる
- ・嘘をつかれる
- ・好きな人の名を広められた
- ・嫌なあだ名をつけられた

<中学生>

- ・変な噂を流される
- ・陰口
- ・あだ名をつけられる
- ・嫌がらせメール
- ・冷やかし
- ・ばい菌扱い
- ・脅される
- ・自分のせいにされる

設問 2 設問 1 の(1)～(7)のようなことから、学校に来るのがつらくなることがありますか？



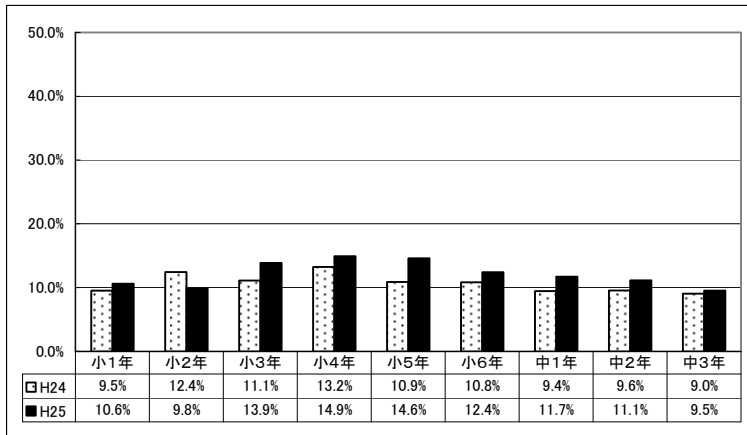
<表 7 >

	H24	H25
小1→2	11.2%	14.2%
小2→3	16.6%	12.4%
小3→4	14.1%	12.0%
小4→5	13.9%	10.3%
小5→6	9.8%	8.0%
小6→中1	8.7%	7.5%
中1→2	7.4%	8.3%
中2→3	8.9%	6.2%

ア 「はい」と答えている児童生徒は、昨年度に比べて減少しています。小学生で概ね全体の11.5%、中学生で概ね全体の7.3%となっています。

イ 経年比較においては、現小学2年生と中学2年生で上回っています。その他の学年では下回っています。

設問3 友だちのことで悩んでいることや、心配なこと、相談したいことがありますか？



<表8>

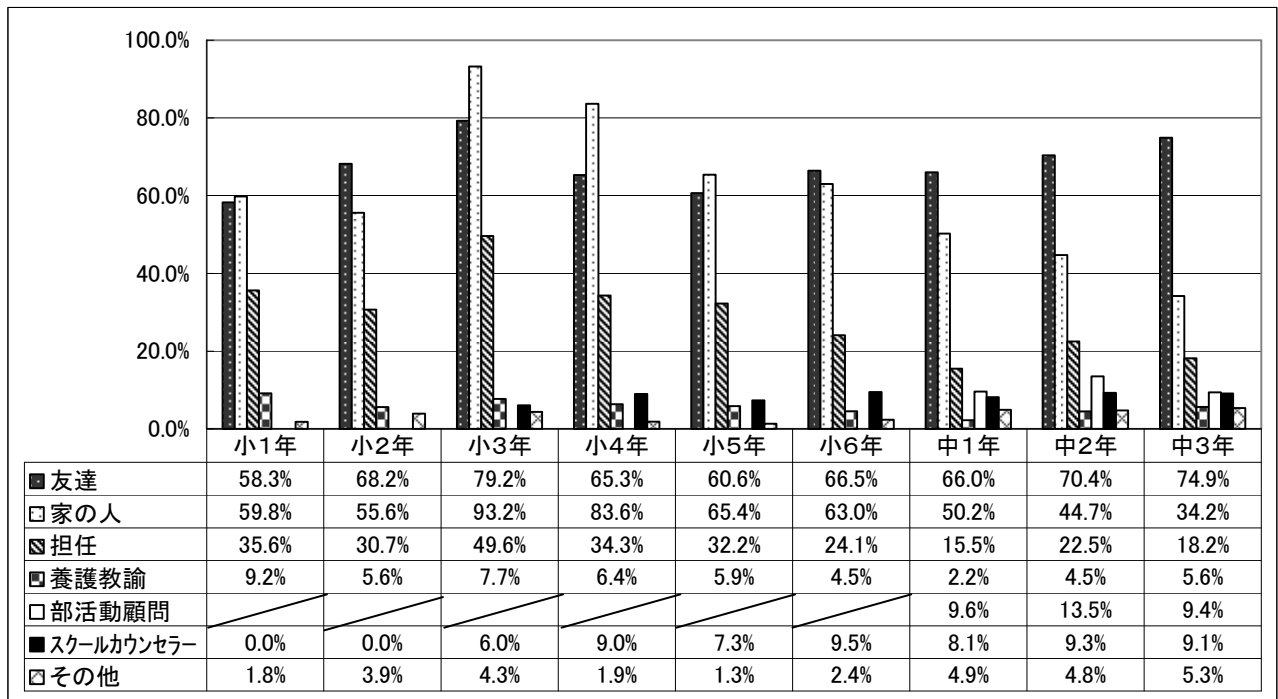
	H24	H25
小1→2	9.5%	9.8%
小2→3	12.4%	13.9%
小3→4	11.1%	14.9%
小4→5	13.2%	14.6%
小5→6	10.9%	12.4%
小6→中1	10.8%	11.7%
中1→2	9.4%	11.1%
中2→3	9.6%	9.5%

ア 「はい」と答えている児童生徒は、どの年齢層もほぼ10%~15%前後という結果となっています。

イ 昨年と比較して「はい」と答えた児童生徒の割合は小学2年生を除いて増加しています。

ウ 経年比較においては、現中学3年生を除いて、全ての学年で上回っています。特に現小学4年生では3.8%上昇しています。

設問4 設問3の質問で「はい」と答えた人の中で、悩みを相談したいと思う人は誰ですか？



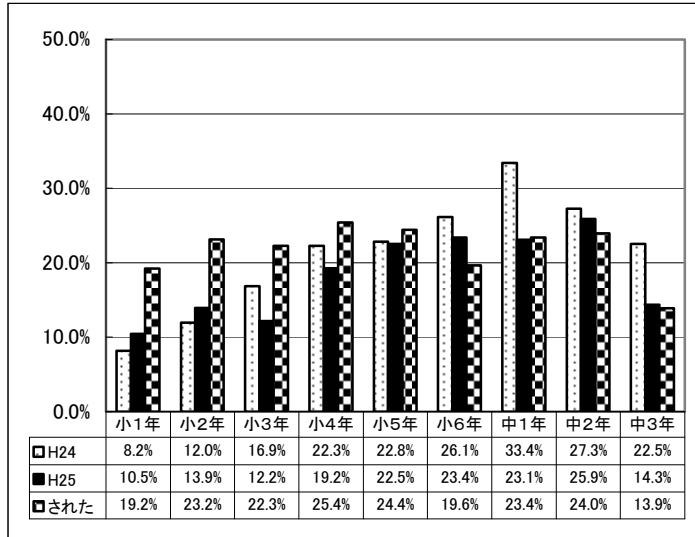
*複数回答のため、各学年の合計は100%を越えています。

- ア 「悩みを相談したい人」として、小・中学生ともに「友達、家の人、担任」をあげ、小学6年生以降は相談相手として「友達」が「家の人」を上回っています。
- イ 「スクールカウンセラー」については、小学3年生以降、6～10%程度の児童生徒が相談したい相手としてあげています。
- ウ 中学校では「部活動顧問」への相談も10%程度あります。

設問5 今年の4月から今までの間に、周りの人に次のようなことをしたことがありますか。

(1) ひやかしたり、からかったり、嫌がることを言った

※グラフの一番右は**設問1**「された」の値



<表9>

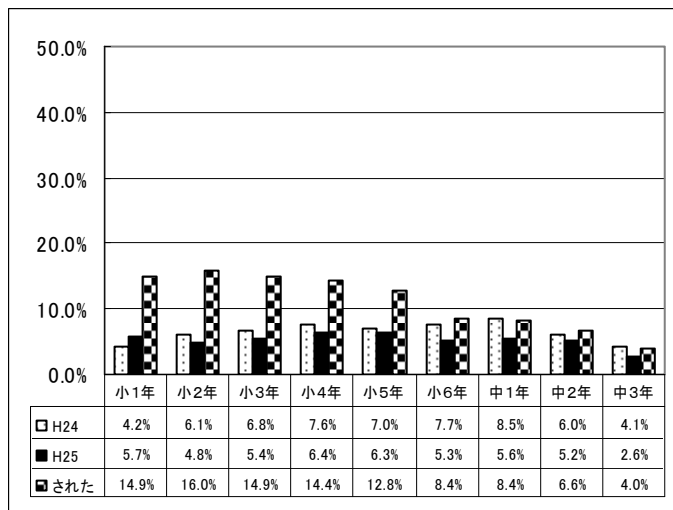
	H24	H25
小1→2	8.2%	13.9%
小2→3	12.0%	12.2%
小3→4	16.9%	19.2%
小4→5	22.3%	22.5%
小5→6	22.8%	23.4%
小6→中1	26.1%	23.1%
中1→2	33.4%	25.9%
中2→3	27.3%	14.3%

ア 「したことがある」と回答している児童生徒は小学1・2年生を除いて、昨年度に比べて、全ての学年で下回っています。

イ 小学1年生から5年生までは「されたことがある」と回答している児童生徒が「したことがある」と回答した児童生徒を上回っています。

ウ 経年比較においては、現小学2年生から6年生まで昨年度より上回っており、中学生になると下回る結果になっています。

(2) 仲間はずれにしたり、無視したりした

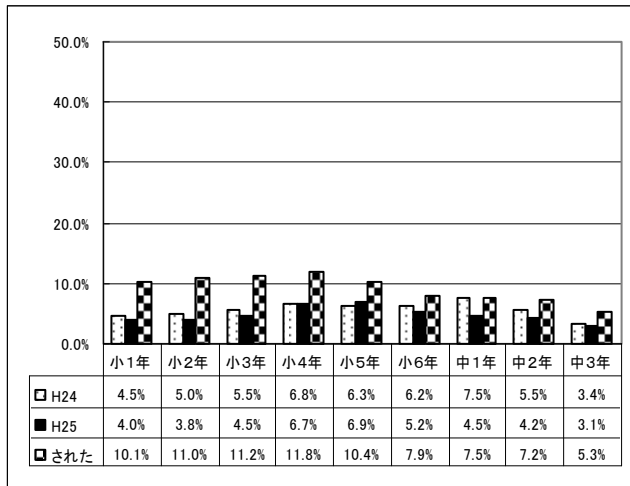


<表10>

	H24	H25
小1→2	4.2%	4.8%
小2→3	6.1%	5.4%
小3→4	6.8%	6.4%
小4→5	7.6%	6.3%
小5→6	7.0%	5.3%
小6→中1	7.7%	5.6%
中1→2	8.5%	5.2%
中2→3	6.0%	2.6%

- ア 小学1年生を除く全ての学年で、昨年度より減少しています。
- イ 全ての学年で「されたことがある」が「したことがある」を上回っています。特に小学校において、その傾向が顕著に見られます。
- イ 経年比較においては、現小学2年生を除く、全ての学年で下回っています。

(3) 持ち物を取ったり、かくしたりした

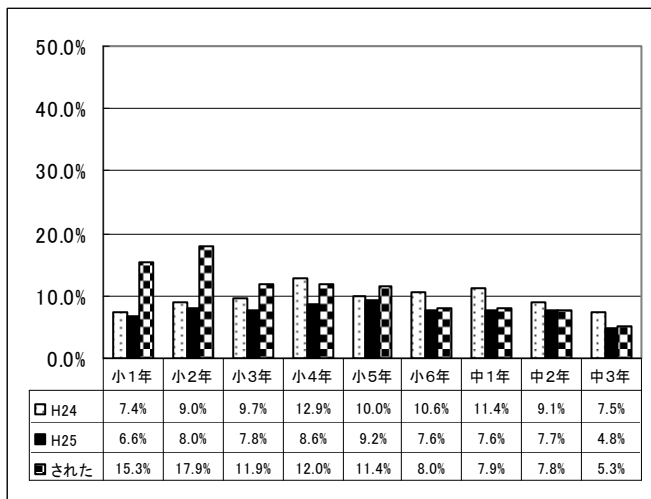


<表 1 1 >

	H24	H25
小1→2	4.5%	3.8%
小2→3	5.0%	4.5%
小3→4	5.5%	6.7%
小4→5	6.8%	6.9%
小5→6	6.3%	5.2%
小6→中1	6.2%	4.5%
中1→2	7.5%	4.2%
中2→3	5.5%	3.1%

- ア 全ての学年で「されたことがある」が「したことがある」を上回っています。特に小学5年生までは、その傾向が顕著に見られます。
- イ 経年比較においては、現小学4・5年生において増加しています。

(4) なぐったり、けったりした

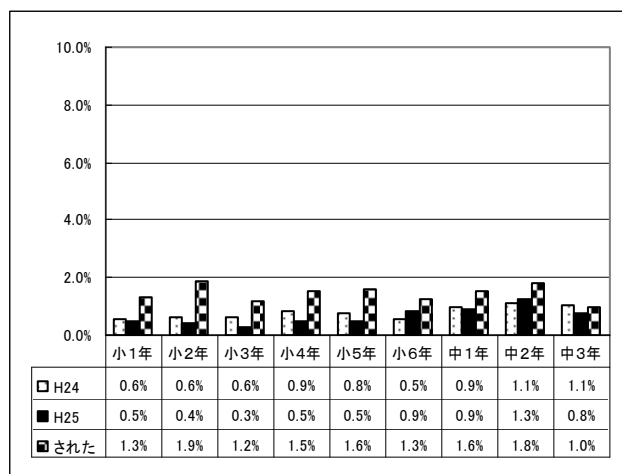


<表 1 2 >

	H24	H25
小1→2	7.4%	8.0%
小2→3	9.0%	7.8%
小3→4	9.7%	8.6%
小4→5	12.9%	9.2%
小5→6	10.0%	7.6%
小6→中1	10.6%	7.6%
中1→2	11.4%	7.7%
中2→3	9.1%	4.8%

- ア 全学年で「されたことがある」が「したことがある」を上回っています。特に、小学1・2年生でその差が顕著になっています。
- イ 「したことがある」と答えた児童生徒は中学3年生を除いて、全ての学年で、8%程度と横ばいの状況です。
- ウ 経年比較においては、現小学2年生を除いて、全ての学年で昨年度を下回っています。

(5) お金を出させたり、おごらせたりした



<表 1 3>

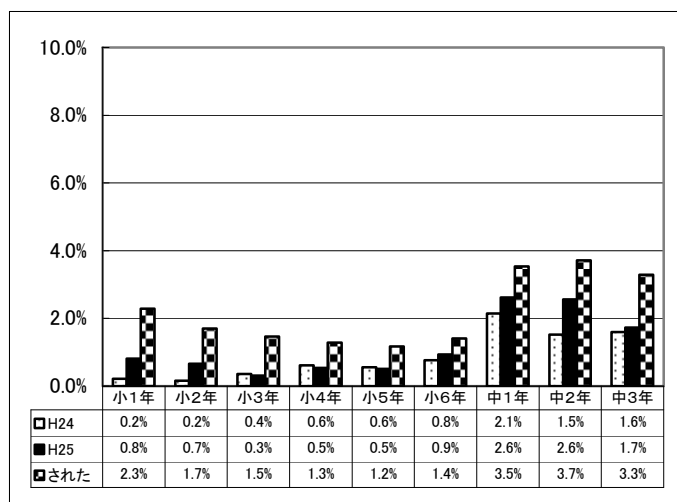
	H24	H25
小1→2	0.6%	0.4%
小2→3	0.6%	0.3%
小3→4	0.6%	0.5%
小4→5	0.9%	0.5%
小5→6	0.8%	0.9%
小6→中1	0.5%	0.9%
中1→2	0.9%	1.3%
中2→3	1.1%	0.8%

ア 全ての学年で「されたことがある」が「したことがある」を上回っています。特に小学5年生までは、その傾向が顕著に見られます。

イ 経年比較においては、小学6年生から中学2年生までで昨年度を上回っています。

(6) 悪口を書いた手紙を回した

パソコンや携帯電話で悪口を言ったり、書き込んだりした



<表 1 4>

	H24	H25
小1→2	0.2%	0.7%
小2→3	0.2%	0.3%
小3→4	0.4%	0.5%
小4→5	0.6%	0.5%
小5→6	0.6%	0.9%
小6→中1	0.8%	2.6%
中1→2	2.1%	2.6%
中2→3	1.5%	1.7%

ア 「したことがある」に比べ、全ての学年で「されたことがある」が上回っています。

イ 中学生になると「したことがある」生徒、「されたことがある」生徒とも多くなっています。

ウ 経年比較では、現中学1年生で昨年度の3倍以上に増えています。

(7) その他（人が嫌がるようなこと）

<小学生>

- ・嘘をついた
- ・友達を変な名前と呼ぶ
- ・ちょっかいを出した
- ・けんか
- ・落書き
- ・おどかした

<中学生>

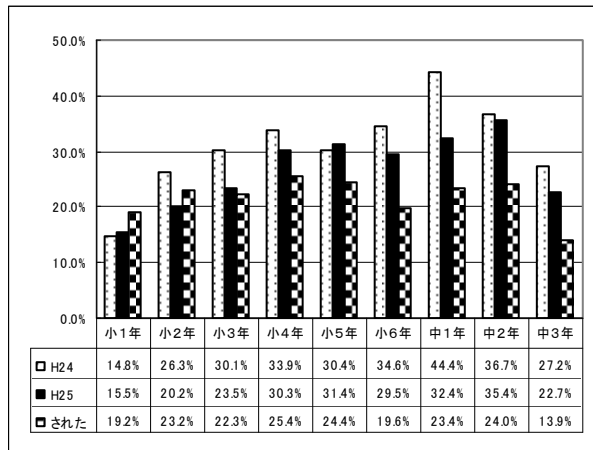
- ・悪口を書き込んだ
- ・陰口
- ・避ける
- ・くすぐる

設問6 4月から今までの間に、同じ人がくり返し、次のようなことをされている場面を見たり、聞いたりしたことがありますか。

(1) ひやかされたり、からかわれたり、嫌がることを言われていた

※グラフの一番右は設問1「された」の値

<表15>

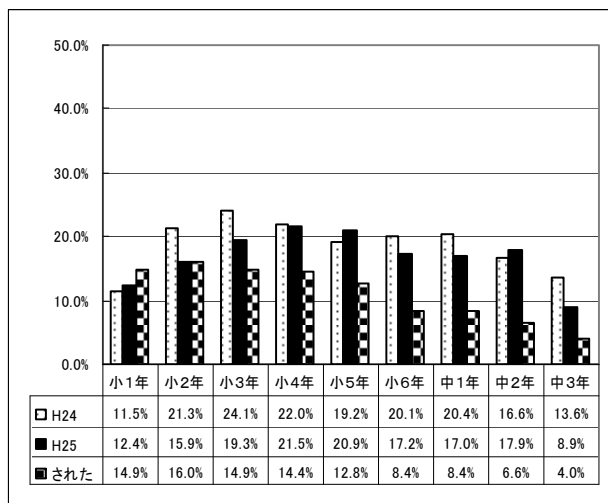


	H24	H25
小1→2	14.8%	20.2%
小2→3	26.3%	23.5%
小3→4	30.1%	30.3%
小4→5	33.9%	31.4%
小5→6	30.4%	29.5%
小6→中1	34.6%	32.4%
中1→2	44.4%	35.4%
中2→3	36.7%	22.7%

ア 「見たり聞いたりした」と回答した児童生徒は小学1年生と5年生を除いて減少しています。

イ 「された」に比べて、「見たり聞いたりした」が小学3年生以上で上回っています。

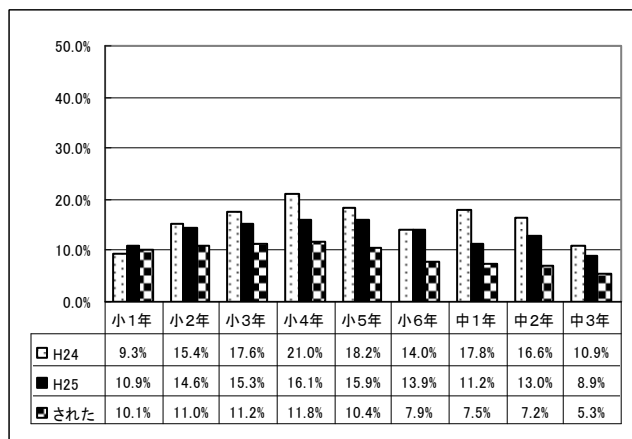
(2) 仲間はずれにされたり、無視されたりしていた



<表16>

	H24	H25
小1→2	11.5%	15.9%
小2→3	21.3%	19.3%
小3→4	24.1%	21.5%
小4→5	22.0%	20.9%
小5→6	19.2%	17.2%
小6→中1	20.1%	17.0%
中1→2	20.4%	17.9%
中2→3	16.6%	8.9%

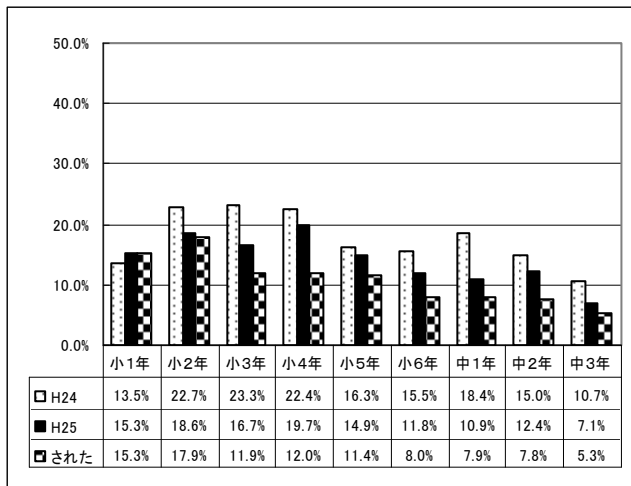
(3) 持ち物を取られたり、かくされたりしていた



<表17>

	H24	H25
小1→2	9.3%	14.6%
小2→3	15.4%	15.3%
小3→4	17.6%	16.1%
小4→5	21.0%	15.9%
小5→6	18.2%	13.9%
小6→中1	14.0%	11.2%
中1→2	17.8%	13.0%
中2→3	16.6%	8.9%

(4) なぐられたり、けられたりしていた

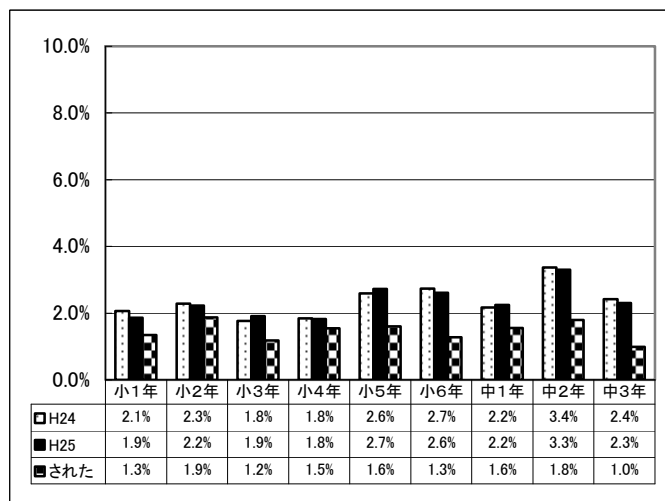


<表18>

	H24	H25
小1→2	13.5%	18.6%
小2→3	22.7%	16.7%
小3→4	23.3%	19.7%
小4→5	22.4%	14.9%
小5→6	16.3%	11.8%
小6→中1	15.5%	10.9%
中1→2	18.4%	12.4%
中2→3	15.0%	7.1%

ア (2)～(4)については、「見たり聞いたりした」と回答した児童生徒は減少傾向にあります。

(5) お金を出させられたり、おごらされたりしていた



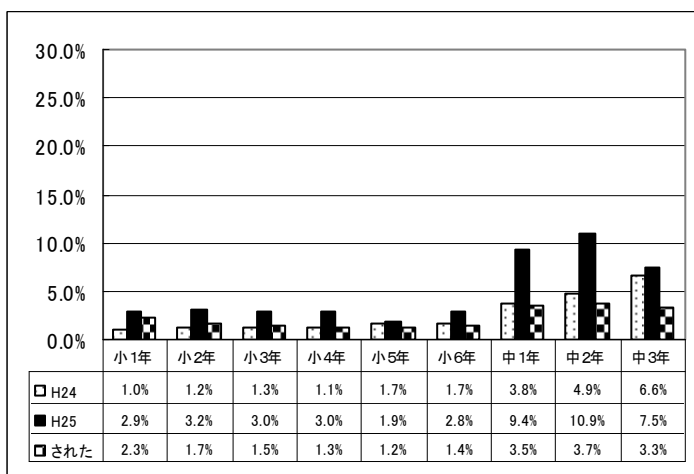
<表19>

	H24	H25
小1→2	2.1%	2.2%
小2→3	2.3%	1.9%
小3→4	1.8%	1.8%
小4→5	1.8%	2.7%
小5→6	2.6%	2.6%
小6→中1	2.7%	2.2%
中1→2	2.2%	3.3%
中2→3	3.4%	2.3%

ア 小学5年生以上で、「見たり、聞いたりした」が増えています。

(6) 悪口を書いた手紙を回されていた

パソコンや携帯電話で悪口を書き込まれていた



<表20>

	H24	H25
小1→2	1.0%	3.2%
小2→3	1.2%	3.0%
小3→4	1.3%	3.0%
小4→5	1.1%	1.9%
小5→6	1.7%	2.8%
小6→中1	1.7%	9.4%
中1→2	3.8%	10.9%
中2→3	4.9%	7.5%

ア 全ての学年で「見たり、聞いたりした」が昨年度に比べて増えています。
 イ 経年で比べると、「パソコンや携帯電話で悪口を言ったり、書き込んだりした」中学校においては、増加傾向が著しく、現中学1年生では昨年度の5倍以上、中学2年生では、2.8倍以上となっています。

(7)その他

<小学生>

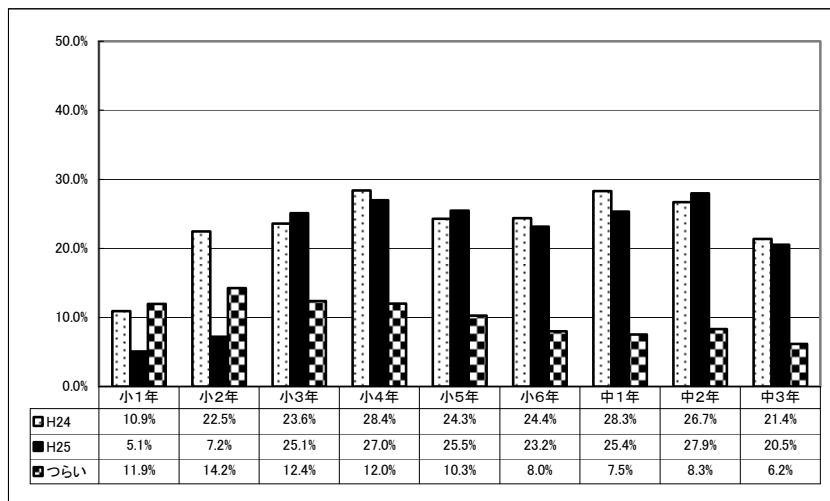
- ・物を隠されていた
- ・見て見ぬふりをした
- ・変な名前と呼ばれていた
- ・投石
- ・死ねと書かれていた
- ・悪口を言っていた
- ・体型・体臭のことをいう

<中学生>

- ・机を離される
- ・嫌なあだ名
- ・目の前でドアを閉められる
- ・避けられた
- ・好きな人の話を無理矢理させている

設問7 6の(1)～(7)のようなことから、まわりに学校に来るのがつらくなっている人がいると思いますか？

※一番右は設問2「学校に来るのがつらいときがある」の値



<表21>

	H24	H25
小1→2	10.9%	7.2%
小2→3	22.5%	25.1%
小3→4	23.6%	27.0%
小4→5	28.4%	25.5%
小5→6	24.3%	23.2%
小6→中1	24.4%	25.4%
中1→2	28.3%	27.9%
中2→3	26.7%	20.5%

ア 小学1・2年生では、「いると思う」の割合が、設問2の「つらいときがある」の割合を大きく下回っています。

イ 小学3年生以降では、「いると思う」と回答した児童生徒が20%から28%の割合でいます。

設問8 6の(1)～(7)のような場面を見たり、聞いたりしたら、どうしますか？(記述式)

<小学生>

- ・大人や先生、家の人に言う・相談する
- ・「やめなよ」という
- ・注意する
- ・されている子の話を聞き、優しく接する
- ・保健室に連れて行く
- ・スクールカウンセラーに伝える手紙を書く
- ・なくなった物を一緒にさがす
- ・裏で仲良くする
- ・黙って見ている
- ・近寄らない
- ・自分がやられたら嫌だから何も言えない
- ・見て見ぬ振りをする
- ・注意しようと思うが、勇気が出せなくてできない

<中学生>

- ・先生に言う ・助ける ・止める ・相談にのる ・話しかけてあげる
- ・何か対策はないか考える ・家族や親に相談する ・首をつっこまないようにする
- ・止めたいが勇気がない ・放っておく ・何もできない

ア どの学校からも、学校内で嫌な思いをさせられている児童生徒に「何かをしなければならぬ」と考える児童生徒が多数います。

4 全体の考察

(1) 「嫌なことをされたことがある」児童生徒の減少について

全体的に見ると、昨年度の調査に比べ、「冷やかし・からかい」「仲間はずれ・無視」等、「嫌なことをされたことがある」児童生徒は減少しています。

これは、各学校において昨年度のアンケートの結果を分析し、児童会・生徒会活動や個別面談、授業の工夫、いじめ防止プログラムなど様々な取り組みを行う中で、教員が児童生徒をより丁寧に観察し、いじめの未然防止や早期発見に努めたことの成果であるにとらえています。加えて、学校や家庭が、いじめ問題についての様々な取り組みを行うことで、児童生徒自身もいじめ問題と向き合い、いじめに対する意識が向上してきたことも減少の要因と考えられます。

「嫌なことをしたことがある」「嫌なことをされているのを見たり、聞いたりした」児童生徒についても減少しており、これは「嫌なことをされた」こと自体が減少したことによるものと考えられます。

(2) 年齢による変化について

「嫌なことをしたことがある」児童生徒は、「嫌なことをされたことがある」児童生徒の割合を全学年で下回っています。特に、小学校低学年において低い傾向があります。

これは、小学校低学年の発達段階として、相手に嫌な思いをさせているという意識がないなど、自分の行動を客観視できないことによるものと考えられます。

一方、小学校高学年以降になると、周囲の状況を判断したり、相手の気持ちを理解したりできるようになるので、「嫌なことをした」児童生徒と、「嫌なことをされたことがある」児童生徒の割合は変わらなくなってきます。

以上のことから、小学校低学年においては、より一層丁寧な支援が必要になってきます。

(3) 課題について

ア パソコン、携帯電話等によるいやがらせ

今回の調査から、パソコン、携帯電話、スマートフォン等によるいやがらせを受けたり、したり、見たり聞いたりした児童生徒が、中学生になると多くなることがわかりました。特に、中学1年生になると急増しています。

これは、携帯電話やスマートフォンを中学1年生で買い与えられることが非常に多いことと関係しています。他の学年においても、ソーシャルネットワークサービスを使った仲間はずれや悪口が増えていることが考えられます。

そのほか、注意すべき点として、割合としては低いものの、金銭にかかわるいやがらせが「された」り「見た聞いた」児童生徒が「した」児童生徒より多いことです。

金銭の問題やインターネット・携帯電話等の問題は、深刻化する危険性が高く、学校では、発見次第、素早く適切な対応を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携して対応することが重要です。

イ 小学2年生における事案の増加

学校生活の中で嫌な思いをしている児童生徒については、小学2年生が増加し、それ以外の学年についてはほぼ減少しています。

小学2年生は、学校生活に慣れ、自分の欲求に従って行動する傾向にあります。また、相手の立場を認めたり、理解したりすることが困難なため、周囲の児童とトラブルを起こすことが多くなる傾向があります。学校では、この年齢の特性を理解した指導と支援を行っていく必要があります。

ウ 児童生徒の意識

周囲で嫌なことをされている場面を見たとき、多くの児童生徒が何かをしなければならないと考えています。一方、「自分がやられるのでは」という恐怖心から「何もしない」、「関わらないようにする」と答えている児童生徒も一定程度います。

昨年度に比べて、嫌な思いをした児童生徒は少なくなってきたものの、学校は、傍観者の存在を意識して支援していくことを心がける必要があります。加害者と被害者の個人の問題としてではなく、集団の問題として受け止め、周りの子どもたちが集団の一員の責務として問題の解決にあたらうとする態度を育てる必要があります。

5 今後に向けて

(1) 考察から見えた課題への対応

ア 携帯電話やインターネットによるいじめの問題

教育委員会は、情報モラル教育のあり方を検証し、各学校へ資料の提供を行います。各学校は、情報モラル教育を取り入れた実践的な授業を行うとともに、PTA等と連携して児童生徒と保護者を対象にした講演会等を行い情報モラルの向上を図ります。

イ 低学年の指導

教育委員会は、指導の具体例を紹介したり、指導主事による学校訪問や経験者研修の中で、児童の特性について教員の理解を深めたりするよう指導します。各学校は、いじめの被害者の心情について、クラス全員で共有し、具体的な目標を持たせることや、保護者会等で取り上げ家庭と連携を図ります。

ウ 児童生徒の意識の向上

教育委員会は、現在、学校で取り組んでいるいじめの未然防止の取り組みを検証し、各学校へ取り組み内容を発信します。また、各学校と連携し、いじめ防止プログラムや児童生徒会によるいじめ防止キャンペーン、挨拶運動等を通して、児童生徒自らがいじめの未然防止に取り組む活動を支援します。

(2) 教育委員会の今年度中の取り組み

ア 藤沢市いじめ防止対策基本方針の策定

今年度中を目途に策定し、それに基づいて、各学校で学校いじめ防止対策基本方針を策定します。

イ 藤沢市いじめ問題対策協議会検討会の設置

藤沢市いじめ問題対策協議会検討会を11月から1月に開催し、協議会の運営と(仮称)いじめ防止条例の必要性などについて検討を進めます。また、平成26年度に(仮称)藤沢市いじめ問題対策協議会を設置する予定です。

ウ いじめ対策マニュアルの整備

「児童生徒指導の手引き」内にある「いじめ」マニュアルを見直し、「児童生徒指導の手引き（改訂版）」を発行し、平成26年4月に全教職員に配付します。各学校では、事故防止検討委員会等で内容を討議し、教職員の意識と指導力の向上を図ります。

エ 「Stop いじめ 中学生の集い in ふじさわ」の開催

平成25年12月14日に市内公立中学校の生徒会役員が一堂に会し、自校の取り組みと情報の共有を図り、いじめ防止への意識を高める集いを開催します。

オ いじめ防止リーフレットの改訂

小学校新入学児童保護者向けリーフレット「いじめ?! 感じよう受け止めよう」の改訂を行い平成26年4月に配付します。

カ 教員に対する研修

いじめへの対応についての研修、情報モラル教育の研修を今年度中に開催します。

(3) 来年度に向けた取り組み

ア アンケートの実施については、今年度と同様に2回行います。実施方法については、今年度、一部の学校において家に持ち帰り、封筒に入れて回収する方法を試行しました。1月に行う調査でも同様に試行するとともに、その検証結果を踏まえ実施方法を検討します。

イ スクールカウンセラーの配置は、いじめ問題の発見や早期の相談が可能となるよう、充実を図ります。

ウ いじめ相談ホットライン・いじめ相談メールについては、利用者の視点に立ち、相談しやすい状況となるよう内容の充実等について検討します。

エ いじめ防止プログラムの提供は、指導時間を短縮した「いじめ防止プログラム」を含めて、より多くの学校で実施できるようにします。

以 上